

第2回

泌尿器画像診断・治療技術研究会 JSURT

Japanese Society
of Uroradiologic and
Therapeutic Technology

二〇一四年

九月十二日(金)～十三日(土)

会場

ウエステイン都ホテル京都

〒六〇五・〇〇五二 京都府京都市東山区三条ヶあけ

当番
幹事

〈泌尿器科〉

荒井 陽一

東北大学大学院医学系研究科 泌尿器科学分野

〈放射線科〉

高瀬 圭

東北大学大学院医学系研究科 放射線診断学分野

テーマ

Uro-Radiology Partnership

ご挨拶

この度、本院放射線診断科の高瀬 圭先生とご一緒に、第2回泌尿器画像診断・治療技術研究会JSURTを主催させていただくことになりました。大変光栄に存じます。今回のテーマは、本研究会の設立の趣旨に沿って、「Uro-Radiology Partnership」としました。泌尿器科画像診断・治療技術分野に於いて、放射線科医・泌尿器科医相互の連携と発展の一助となることを願っています。小径腎腫瘍の診断・治療、進行性腎癌の分子標的薬治療、副腎腫瘍の病理、原発性アルドステロン症Update、ロボット支援膀胱全摘術・尿路再建術、限局性前立腺癌、去勢抵抗性前立腺癌、上部尿路疾患、尿路結石治療、アンドロロジーなど幅広いテーマをとりあげます。ユニークな企画として、ウロ体内留置物の画像診断に関するセミナーも企画しています。一般演題ポスターデイスカッションでは、優秀演題をBest Poster Awardとして表彰します。一人でも多くのご参加を心よりお待ちしております。



第2回 JSURT(泌尿器画像診断・治療技術研究会) 当番幹事
荒井 陽一
(東北大学大学院医学系研究科 泌尿器科学分野)

この度、荒井 陽一先生とともに、第2回泌尿器画像診断・治療技術研究会を主催させていただくことになり、大変光栄です。我々放射線科医は日々進歩する泌尿器系疾患の診療を理解し、新しい治療法に対応した画像情報を提供すると共に、診療概念の変化に対応した画像診断法の開発を行い続ける必要性を感じております。また、泌尿器科の先生方には急速に進歩する画像診断と放射線治療の現状と今後の展開について興味を持っていただき、泌尿器科側からの放射線診療へのニーズをご提案いただくことが本領域の継続的な発展につながるものと思います。本会で泌尿器科医と放射線科医が一同に会し、最先端の情報を提供し合うことで、文献や日常の交流のみでは成し得ない貴重な相互理解の場になるものと期待しております。9月の古都京都にて多くの先生方のご参加をお待ち申し上げます。



第2回 JSURT(泌尿器画像診断・治療技術研究会) 当番幹事
高瀬 圭
(東北大学大学院医学系研究科 放射線診断学分野)

■ 代表幹事

杉村 和朗（神戸大学 放射線医学分野）

荒井 陽一（東北大学 泌尿器科学分野）

■ 幹事

荒井 陽一（東北大学 泌尿器科学分野）

高瀬 圭（東北大学 放射線診断科）

釜井 隆男（獨協医科大学 泌尿器科）

楫 靖（獨協医科大学 放射線医学講座）

大家 基嗣（慶應義塾大学 泌尿器科）

陣崎 雅弘（慶應義塾大学 放射線診断科）

三木 恒治（京都府立医科大学 泌尿器外科学）

山田 恵（京都府立医科大学 放射線診断治療学講座）

東 治人（大阪医科大学 泌尿生殖・発達医学講座 泌尿器科学教室）

鳴海 善文（大阪医科大学 放射線医学教室）

藤澤 正人（神戸大学 腎泌尿器科学分野）

杉村 和朗（神戸大学 放射線医学分野）

公文 裕巳（岡山大学 泌尿器病態学）

金澤 右（岡山大学 放射線医学）

江藤 正俊（熊本大学 泌尿器科学分野）

山下 康行（熊本大学 放射線診断学分野）

■ 監事

小川 良雄（昭和大学 泌尿器科学講座）

後閑 武彦（昭和大学 放射線医学教室）

ご案内

1. 総合受付

1) 日 時

2014年9月12日(金) 12:00～

9月13日(土) 7:30～

2) 場 所

ウェスティン都ホテル京都 2F 山城の間前 ロビー

3) 受付方法

当日受付にて参加費をお支払いください。

■ 参加費

	参加費
医師・企業	10,000円
技師・コメディカル	5,000円
初期研修医	1,000円
学生(学部)	無料

※参加費には情報交換会参加費2,000円を含む
(ただし初期研修医、学生は情報交換会参加費無料)

2. 座長・演者の先生へ

1) 座 長

- ・セッション開始15分前までに、会場内右前方「次座長席」へお着きください
- ・セッションの終了時間を厳守してください

2) 演 者

- ・発表の30分前までにPC受付にて発表データのチェックを行ってください。
混雑が予想されますので、PC受付が開いている時に随時、前もって行っていただきますよう
ご協力をお願いいたします。
- ・PC受付での発表データの修正作業は、準備進行の妨げになりますのでご遠慮ください。
- ・PC本体をお持ち込みの方はデータ確認終了後、発表会場のPCオペレーター席までご自身でお
持ちください。
- ・会場に設置されるプロジェクターは1画面となり、解像度は1024×768 ピクセルです。
- ・当日は演者ご自身で演台上に設置されているキーボード及びマウスにて操作していただき
ます。

ご案内

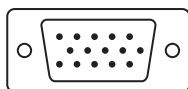
【ご発表機材について】

＜データをお持ち込みの方＞

- ・PC(パソコン)での発表のみ可能です。プロジェクターは1台のみの使用となります。
会場ではWindowsとMacintoshをご用意いたします。
データについてはCD-R、DVD-RまたはUSBフラッシュメモリのメディアにてご持参ください
(CD-RW、DVD-RWは不可)。
- ・ご発表用アプリケーションについては以下のバージョンをご用意いたします。
Windows Power Point:2003、2007、2010、2013
Macintosh Power Point:2008、2011 Keynote: 8、9
- ・フォントは、文字化けやレイアウトの変化を防ぐために、標準搭載のフォントを使用されることを推奨いたします。
- ・動画をご使用の場合は、PowerPointとのリンク状態を保つ為、動画ファイルも同じフォルダに保存して下さい。
動画ファイルの形式については、Windowsの場合、Windows Media Player11の初期状態に含まれるコーデックで再生できる動画ファイルをお持ち下さい(動画ファイルはWMV形式を推奨します※AVIはCODECによって再生できない場合があります)。
また、Macintoshの場合はQuick Time Player10の初期状態に含まれるコーデックで再生できる動画ファイルをお持ち下さい(動画ファイルはMOV形式を推奨します)。
- ・動画ご使用の場合は、ご自身のPCをお持ちいただくことをお勧めいたします。
- ・音声は使用できません。
- ・発表者ツールは使用できません。
- ・お預かりした発表データは、会終了後にコンピューターより消去いたします。

＜PC本体を持参される方＞

- ・PC持込の場合は、外部ディスプレイ出力が可能であることを必ずご確認ください。出力端子がMiniD-sub 15ピンでないものは、接続アダプターをご持参下さい。



MiniD-sub 15 ピン

※HDMIやMini DisplayPortなどD-sub 15ピン以外の接続はお受けできませんので予めご了承ください。

- ・画面サイズ(解像度)はXGA(1024×768)となります。
- ・この環境で画面の全てが不具合無く表示される事を予めご確認ください。
- ・バッテリー切れを防ぐため電源アダプターをご持参下さい。
- ・スクリーンセーバー、省電力設定については、あらかじめ解除をお願いします。
- ・再起動することがありますのでパスワード入力は不要に設定をお願いいたします。
- ・音声は使用できません。
- ・発表者ツールは使用できません。

3. ポスター発表について

1) ポスター・展示会場：

ウェスティン都ホテル京都 2F
山城の間(西)

2) 受付

第1日目の9月12日(金)午前12:00～
13:00の間に総合受付にてポスター
受付をお済ませ下さい。

ポスターを掲示するパネルに演題
番号がついていますので、パネルに
取り付けているプッシュピンを利用
して掲示して下さい。

3) ポスター発表

<掲 示>

9月12日(金)12:00～13:00

<閲 覧>

9月12日(金)13:00～9月13日(土)15:30

<ディスカッション>

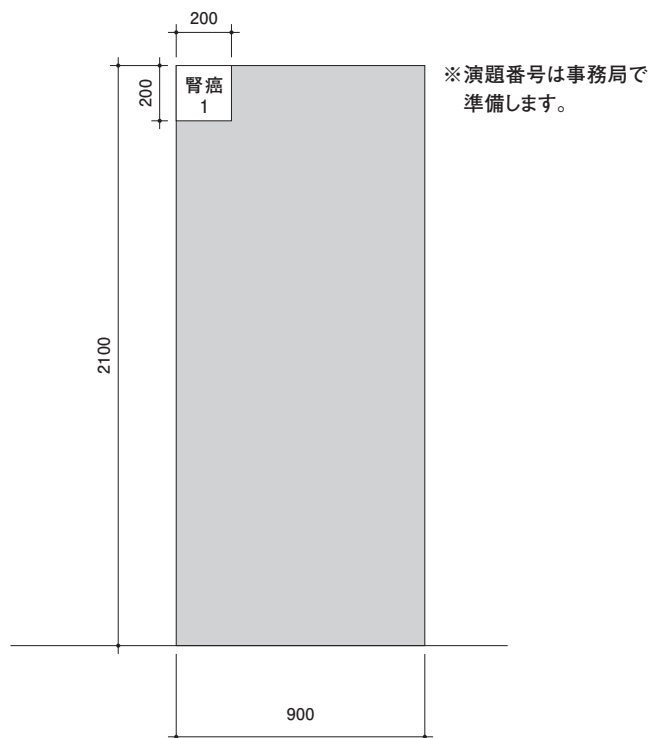
9月13日(土)11:30～12:30 ※5セッション同時開催

<発表時間>

1 演題7分(発表3分+質疑4分)

*ポスター発表時に、優秀演題をBest Poster Awardとして表彰します。

4) 全プログラム終了後は、直ちにポスターの撤去をお願い致します。終了後30分経過しても残っているポスターは処分致しますので、ご了承下さい。



4. 幹事会

1) 日 時：2014年9月12日(金) 12:00～13:00

2) 場 所：ウェスティン都ホテル京都 4F 稔りの間

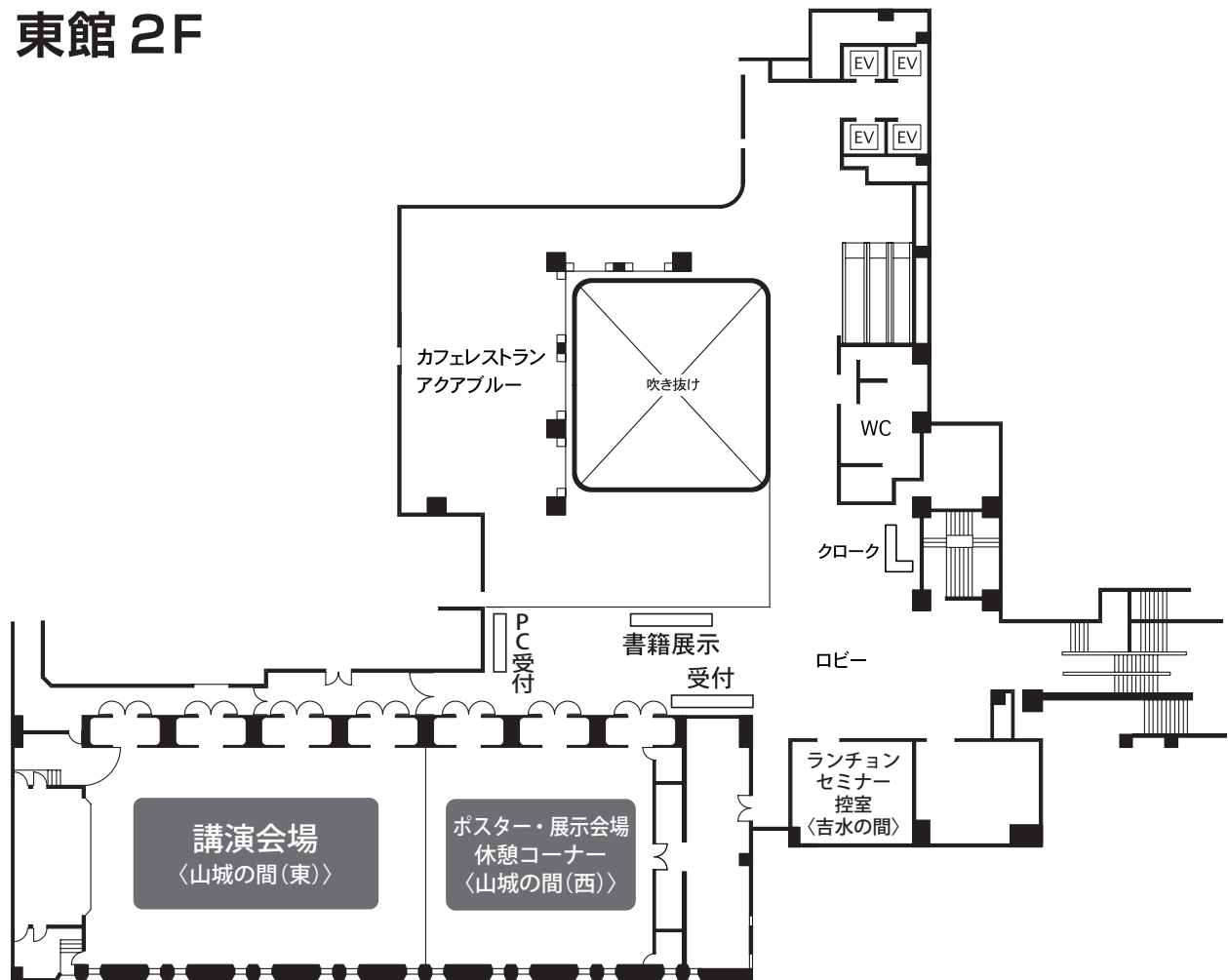
5. 情報交換会

1) 日 時：2014年9月12日(金) 19:10～

2) 場 所：ポスター・展示会場(ウェスティン都ホテル京都 2F 山城の間(西))

会場フロア図

東館 2F

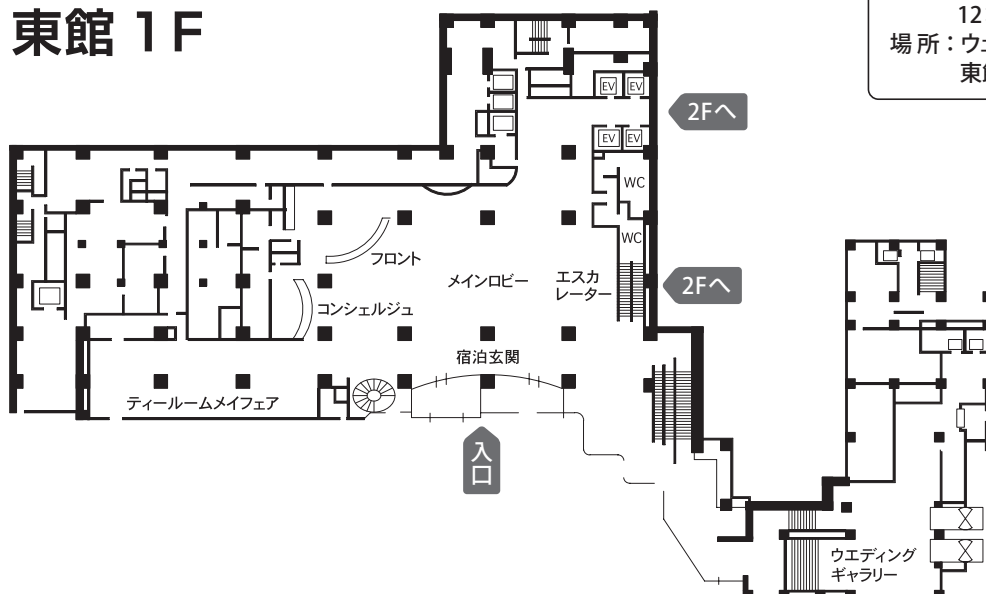


【幹事会】

日時：2014年9月12日(金)
12:00～13:00

場所：ウェスティン都ホテル京都
東館4F 総りの間

東館 1F



プログラム

プログラム

【1日目】 2014年9月12日(金)

13:25	開会の辞	荒井 陽一 (東北大学・泌) 高瀬 圭 (東北大学・放)
13:30	セッション1「小径腎腫瘍の低侵襲治療」	
	〈座長〉 公文 裕巳 (岡山大学・泌) 山門 亨一郎 (三重大学・放)	
	1-1 腎部分切除術でのtrifecta達成に向けて	齋藤 英郎 (東北大学・泌)
	1-2 3D構築画像を用いたロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術	藤澤 正人 (神戸大学・泌)
	1-3 アブレーション治療の実際:クライオセラピー・RFA	山門 亨一郎 (三重大学・放)
	1-4 腎癌に対する定位放射線治療	大西 洋 (山梨大学・放)
	【共催】 テルモ株式会社	
14:50	セッション2「限局性前立腺癌の治療」	
	〈座長〉 大家 基嗣 (慶應義塾大学・泌) 後閑 武彦 (昭和大学・放)	
	2-1 術後機能温存を考慮したロボット支援前立腺全摘術(RARP)	白木 良一 (藤田保健衛生大学・泌)
	2-2 前立腺MRI:手術前に提供出来る情報	楫 靖 (獨協医科大学・放)
	2-3 小線源治療(LDR)の治療成績	大橋 俊夫 (慶應義塾大学・放)
	【共催】 武田薬品工業株式会社	
15:50	休憩	
16:05	セッション3「上部尿路疾患」	
	〈座長〉 三木 恒治 (京都府立医科大学・泌) 高橋 哲 (神戸大学・放)	
	3-1 回腸導管造設後長期症例の上部尿路合併症・腎機能の推移	前鼻 健志 (札幌医科大学・泌)
	3-2 上部尿路上皮癌に対するリンパ節郭清範囲の決定と臨床的意義	近藤 恒徳 (東京女子医科大学・泌)
	3-3 超細径HDIGを使用する内視鏡システムの開発	公文 裕巳 (岡山大学・泌)
	【共催】 サノフィ株式会社	
17:05	診療科またぎセミナー「泌尿器科医が入れたデバイス なんじゃこりゃ？」	
	〈座長〉 高瀬 圭 (東北大学・放) 伊藤 明宏 (東北大学・泌)	
	※クリップ、ステント、メッシュ、人工括約筋などウロ体内留置物の画像診断を徹底説明！	
17:35	休憩	
17:50	イブニングセミナー「画像でわかるアンドロロジー・性機能」	
	〈座長〉 藤澤 正人 (神戸大学・泌) 杉村 和朗 (神戸大学・放)	
	E-1 造影超音波を用いた精巣・陰茎の血流評価	丸上 永晃 (奈良県立医科大学・内超)
	E-2 MRIで探る勃起のメカニズム	邵 仁哲 (明治国際医療大学・泌)
	E-3 エコーでわかる射精のふしぎ	永井 敦 (川崎医科大学・泌)
	E-4 陰茎の画像検査:3DCTD海綿体造影と仮想海綿体内視鏡	川西 泰夫 (高松赤十字病院・泌)
	E-5 低強度体外衝撃波によるED治療有効性の予測	久末 伸一 (順天堂大学・泌)
	【共催】 エーザイ株式会社	
19:05	移動	
19:10	情報交換会・ポスター閲覧	

【2日目】 2014年9月13日(土)

8:30	モーニングレクチャー「副腎腫瘍の病理ABC」	〈座長〉 荒井 陽一 (東北大学・泌)
	M-1 副腎の病理:正常・機能と腫瘍	渡辺 みか (東北大学・病理)
9:15	セッション4「原発性アルドステロン症Update」	〈座長〉 荒井 陽一 (東北大学・泌) 梶 靖 (獨協医科大学・放)
	4-1 PA診療ガイドライン	今本 敬 (千葉大学・泌)
	4-2 副腎静脈サンプリングに必要な解剖と手技—治療へのインパクトを含めて—	高瀬 圭 (東北大学・放)
	4-3 腹腔鏡下副腎摘除術の実際	宮嶋 哲 (慶應義塾大学・泌)
	4-4 副腎部分切除術~adrenal-sparing surgery~の可能性の探索	石戸谷 滋人 (仙台市立病院・泌)
	【共催】 第一三共株式会社	
10:15	休憩	
10:30	セッション5「相互理解のための教育セミナー」	〈座長〉 東 治人 (大阪医科大学・泌) 山田 恵 (京都府立医科大学・放)
	5-1 ロボット支援膀胱全摘術+回腸新膀胱	大山 力 (弘前大学・泌)
	5-2 小径腎腫瘍の鑑別診断	陣崎 雅弘 (慶應義塾大学・放)
11:30	ポスターディスカッション	
	※ポスター発表時に、優秀演題をBest Poster Awardとして表彰します。	
12:30	休憩	
12:40	ランチョンセミナー「尿路結石診療の最前線」	〈座長〉 釜井 隆男 (獨協医科大学・泌) 陣崎 雅弘 (慶應義塾大学・放)
	L-1 尿路結石診断におけるDual Energy CTの可能性	高橋 哲 (神戸大学・泌)
	L-2 軟性尿管鏡による結石治療f-TULの実際	中野 磨 (仙塩利府病院・泌)
	【共催】 バイエル薬品株式会社	
13:30	事務局連絡	
13:45	セッション6「転移性腎癌の分子標的薬治療」	〈座長〉 小川 良雄 (昭和大学・泌) 山下 康行 (熊本大学・放)
	6-1 腎癌分子標的治療の現状と展望	江藤 正俊 (熊本大学・泌)
	6-2 11CコリンPETによる前立腺がんの診断	窪田 和雄 (国立国際医療研究センター病院・放)
	6-3 FDG PET/CT評価に基づいた進行性腎癌治療体系の可能性	中井川 昇 (横浜市立大学・泌)
	【共催】 ファイザー株式会社	
14:30	セッション7「進行性前立腺癌治療のパラダイムシフト」	〈座長〉 江藤 正俊 (熊本大学・泌) 鳴海 善文 (大阪医科大学・放)
	7-1 前立腺癌に対するホルモン療法功罪—有害事象から考える適切な使用の必要性	三塚 浩二 (東北大学・泌)
	7-2 去勢抵抗性前立腺癌(CRPC)の最新事情	大家 基嗣 (慶應義塾大学・泌)
	【共催】 ヤンセンファーマ株式会社 / アストラゼネカ株式会社	
15:20	閉会の辞(第3回 JSURT 当番幹事より)	

一般演題（ポスター）

ディスカッション：2014年9月13日（土）11:30～12:30

腎・副腎・骨

〈座長〉 宮嶋 哲（慶應義塾大学・泌）

1	副腎神経節細胞腫の混在により無症候性かつ内分泌非活性であった褐色細胞腫の1例	石塚 雄一（東北大学大学院 医学系研究科 泌尿器科学分野）
2	前立腺癌骨転移例に対するBone Uptake Value(BUV)を用いた集積に関する定量化の検討	佐藤 友紀（白河厚生総合病院 泌尿器科）
3	当院における前立腺癌骨転移に対する骨シンチBONENAVIの有用性の検討	古谷 洋介（群馬大学大学院 医学系研究科 泌尿器科学）
4	左副腎動静脈瘻に対し保存的加療を行った1例	鈴木 英孝（市立札幌病院 泌尿器科）
5	妊娠中の腎血管筋脂肪腫自然破裂への対応についての検討	三塚 浩二（東北大学 泌尿器科）
6	腎移植ドナー分腎機能評価におけるレノグラム、3DCT腎体積測定併用の有用性	石村 武志（神戸大学 泌尿器科）
7	副腎に発生したChronic expanding hematomaの2例	小森 隆弘（金沢大学附属病院 放射線科）

腎癌

〈座長〉 伊藤 明宏（東北大学・泌）

1	選択的動脈阻血を試みたロボット支援下腎部分切除術の初期経験	眞砂 俊彦（鳥取大学医学部附属病院 泌尿器科・腎臓病センター）
2	内臓脂肪は腹腔鏡下腎摘除術の手術時間を延長する	小松田 明里（慶應義塾大学 医学部 泌尿器科学教室）
3	術前の機能的腎体積あたりの腎機能と術後腎機能の推移の検討	細川 幸成（多根総合病院 泌尿器科）
4	手術計画が有用であったロボット支援無阻血腎部分切除術の1例	磯谷 周治（帝京大学病院 泌尿器科）
5	当院における腎腫瘍に対する凍結療法の初期経験・腎部分切除術との比較	周東 孝浩（群馬大学医学部附属病院 泌尿器科）
6	乳頭状腎細胞癌のsubtypeに対する造影CTのヒストグラム解析	田村 亮（東北大学 放射線診断科）
7	腎部分切除術を施行した嫌色素性腎細胞癌の一例	古敷谷 淳（昭和大学 医学部 泌尿器科学講座）

腎盂尿管・膀胱

〈座長〉 高橋 哲（神戸大学・放）

1	内臓脂肪比率、高度水腎症の有無は腹腔鏡下尿管全摘除術の手術難易度を規定する	菊地 栄次（慶應義塾大学 医学部 泌尿器科）
2	筋層浸潤性膀胱癌の組織学的悪性度評価のための拡散強調MRIによるADC値についての検討	藤村 正亮（千葉県済生会習志野病院 泌尿器科）
3	膀胱原発のMALTリンパ腫の一例	松阪 浩美（昭和大学病院 放射線科）
4	CTによる尿管癌のT2 以下/ T3以上の選別を目的としたT因子診断	本田 有紀子（広島大学 放射線診断科）
5	キャスルマン病とIgG4関連疾患の腎洞および尿管周囲病変の考察	笹井 信也（岡山画像診断センター）
6	呼吸によるCT urographyへの影響：吸気撮影と尿管屈曲との関連	松浦 智徳（東北大学病院 放射線診断科）

精巣・陰茎・尿道

〈座長〉 大田 英揮（東北大学・放）

1	精巣原発カルチノイド腫瘍の一例	永野 仁美（京都府立医科大学 放射線科）
2	外傷性尿道狭窄症における術前MRIの有用性	江戸 博美（防衛医科大学校病院 放射線科）
3	血管性EDに対するCT Angiography(CTA)検査の検討	岸本 大輝（高松赤十字病院 泌尿器科）
4	精巣カルチノイドの一例	扇谷 芳光（昭和大学 医学部 放射線医学講座）
5	多臓器転移を合併した精巣腫瘍の1例（転移巣に対するPET/CTと他の画像検査との検討）	新井 豊（草津総合病院 泌尿器科）
6	陰茎動脈の放射線解剖学的研究	泉 和良（高松赤十字病院）

前立腺癌

〈座長〉 齋藤 英郎（東北大学・泌）

1	経直腸コイル併用ダイナミック造影3テスラMRIによる前立腺癌全摘術後の局所再発診断	北島 一宏（神戸大学大学院 医学研究科 内科系講座放射線医学分野）
2	前立腺癌局在診断におけるmultiparametric MRIの有用性の検討	武藤 智（帝京大学 医学部 泌尿器科）
3	当院におけるLRP後のPSA再発に対する治療戦略と画像診断	鹿瀬島 裕（熊本大学医学部附属病院 泌尿器科）
4	前立腺全摘標本における癌病変とMRI所見との比較検討	西野 将（藤田保健衛生大学 腎泌尿器外科）
5	画像診断・病理診断共に難渋し、確定診断まで3か月間を要した前立腺癌尿管転移の一例	後藤 拓郎（八戸市立市民病院 泌尿器科）
6	前立腺MRIの3D-TSE T2WIにおける組織特異性可変再収束フリップ角の有用性の検討	上野 嘉子（神戸大学大学院 医学研究科 内科系講座放射線医学分野）
7	薬物動態解析(Tissue4D)における治療効果判定の有用性について	大木 孝一（江戸川病院 放射線科）